

# みとりカード

## 〔目的〕

働くことのよさの「役に立つうれしさ」「やりがい」「自分の成長」の三つの視点から、児童の実態を把握し分析することで、補充、深化、統合の方向付けを図る。

## 〔特徴〕

### みとりカードの種類

- ・清掃活動、係活動、お手伝いの三種類。

### 上(働くことのよさ)の欄

- ・三つの働くことのよさを感じている様子を記載。

### 左(補充、深化、統合)の欄

- ・働くことのよさが補充、深化、統合されている様子を記載。

### 児童の実態の記述欄

- ・観察やアンケートなどで把握した児童の実態を記入する。

## 〔活用の方法〕

### ①実態の把握

- ・働くことのよさの三つの視点に照らし合わせ、児童を観察したり事前アンケートを行ったりする。

みとりカードの記述欄に、把握した児童の実態を記入することで、学級全体の傾向がわかり、実態の分析の参考とする。

### ②実態の分析

- ・三つの働くことのよさで補充すべきことはないか。
- ・実態からみて深化、統合すべきことはないか。

### 補充、深化、統合 の方向付け

- ・「役に立つうれしさ」「やりがい」「自分の成長」の三つよさの視点から、補充、深化、統合のいずれかを意図した授業構想を行う。

# みとりカード・清掃活動【低学年】

		働くことのよさ		
		〔役に立つうれしさ〕 人のためになることを意識することで感じる。  ・友達のため。 ・その場所を使うみんなのため。 …など	〔やりがい〕 活動自体によさを見いだしたり、他者から認められたりすることで感じる。  ・ほめられる。 ・お礼を言われる。 ・ぞうきんがけが楽しい。 ・きれいになるのが気持ちがいい。 …など	〔自分の成長〕 前向きに取り組める、上手になるなど以前と比較することで感じる。  ・最初はいやでも、取り組むと気持ちがいい。 ・そうじをするのが、上手になった。 …など
補 充	価値をとらえている様子	清掃活動は友達のためになるのだな。	清掃活動をすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。	一生懸命に清掃活動をすると、前向き(上手)に取り組めるようになるな。
	児童の実態の記述欄			
深 化	価値観を見つめ直している様子	清掃活動は友達のためになるのだな。 今までの自分はどうかだったかな。	清掃活動をすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。 今までの自分はどうかだったかな。	一生懸命に清掃活動をすると、前向き(上手)に取り組めるようになるな。 今までの自分はどうかだったかな。
	児童の実態の記述欄			
統 合	他の活動を関連付けて考えている様子	清掃活動は友達のためになるのだな。 他の活動ではどうだろう。	清掃活動をすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。 他の活動ではどうだろう。	一生懸命に清掃活動をすると、前向き(上手)に取り組めるようになるな。 他の活動ではどうだろう。
	児童の実態の記述欄			

# みとりカード・係活動【低学年】

		働くことのよさ		
		〔役に立つうれしさ〕 人のためになることを意識することで感じる。 ・友達のため。 …など	〔やりがい〕 活動自体によさを見いだしたり、他者から認められたりすることで感じる。 ・ほめられる。 ・お礼を言われる。 ・係活動が楽しい。 ・自分の仕事をするのと気持ちがいい。 …など	〔自分の成長〕 前向きに取り組める、上手になるなど以前と比較することで感じる。 ・最初はいやでも、取り組むと気持ちがいい。 ・係活動をするのが、上手になった。 …など
補充	価値をとらえている様子	係活動は友達のためになるのだな。	係活動をすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。	一生懸命に係活動をする、前向き(上手)に取り組めるようになるな。
	児童の実態の記述欄			
深化	価値観を見つめ直している様子	係活動は友達のためになるのだな。 今までの自分はどうかだったかな。	係活動をすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。 今までの自分はどうかだったかな。	一生懸命に係活動をする、前向き(上手)に取り組めるようになるな。 今までの自分はどうかだったかな。
	児童の実態の記述欄			
統合	他の活動を関連付けて考えている様子	係活動は友達のためになるのだな。 他の活動ではどうだろう。	係活動をすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。 他の活動ではどうだろう。	一生懸命に係活動をする、前向き(上手)に取り組めるようになるな。 他の活動ではどうだろう。
	児童の実態の記述欄			

# みとりカード・お手伝い【低学年】

		働くことのよさ		
		〔役に立つうれしさ〕 人のためになることを意識することで感じる。 ・家族のため。 …など	〔やりがい〕 活動自体によさを見いだしたり、他者から認められたりすることで感じる。 ・ほめられる。 ・お礼を言われる。 ・お皿洗いが楽しい。 ・きれいになるのが気持ちがいい。 …など	〔自分の成長〕 前向きに取り組める、上手になるなど以前と比較することで感じる。 ・最初はいやでも、取り組むと気持ちがいい。 ・お手伝いをするのが、上手になった。 …など
補充	価値をとらえている様子	お手伝いは友達のためになるのだな。	お手伝いをすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。	一生懸命にお手伝いをすると、前向き(上手)に取り組めるようになるな。
	児童の実態の記述欄			
深化	価値観を見つめ直している様子	お手伝いは家族のためになるのだな。 今までの自分はどうかだったかな。	お手伝いをすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。 今までの自分はどうかだったかな。	一生懸命にお手伝いをすると、前向き(上手)に取り組めるようになるな。 今までの自分はどうかだったかな。
	児童の実態の記述欄			
統合	他の活動を関連付けて考えている様子	お手伝いは家族のためになるのだな。 他の活動ではどうだろう。	お手伝いをすると、きれいになって(ほめられて)いい気持ちになるのだな。 他の活動ではどうだろう。	一生懸命にお手伝いをすると、前向き(上手)に取り組めるようになるな。 他の活動ではどうだろう。
	児童の実態の記述欄			

# 補充を意図した道徳の時間 一年

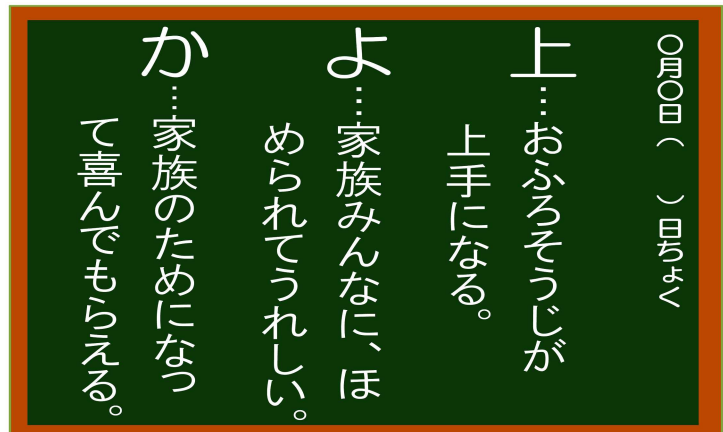
働くことのよさ	とらえる	<b>実態の把握と分析</b> 約9割の児童が洗濯物の片付けや食器運びなど家庭でのお手伝いに取り組んでいることが分かった。また、「役に立つうれしさ」や「やりがい」については7割近い児童が感じていることが分かった。しかし、お手伝いをする中で自分自身が成長することについて感じたり気付いたりする機会が少ないという実態を把握した。 そこで、「自分の成長」について補う必要があると分析し、補充を意図した授業を構想した。
働くことのよさ		<b>資料選択</b> 働くことのよさの「自分の成長」をとらえられる資料。

## 授業の様子

〔展開前段〕 お手伝いをするもののよさを分かりやすくとらえることができるようにした板書

- ・かぞくのため
- ・よるこんでもらえる
- ・上手になる

のキーワードにして示した。



児童の意見や考えを「役に立つうれしさ、やりがい、自分の成長」の視点から整理して板書で示すことにより、今まで漠然と感じていたのはどのよさなのか、さらには、自分が感じていなかったのは、どのよさなのかをとらえることができた。

〔展開後段〕 お手伝いをするもののよさについて感得することができるように、お手伝いをしたときの心情を補助発問で問いかける場面

Girl: 今まで、お手伝いをして、ほめられたり上手になったりしたことはありますか。

Boy: おちゃわんをあらうのがじょうずになった。

Girl: その時の気持ちはどうでしたか。

Boy: うれしかったです。もっとがんばろうと思いました。

自分の中に今まで感じにくかったが上手になるなどの成長を想起することができた。さらに、「そのときの気持ちはどうでしたか」と問うことで、そのよさを感じさせることができた。

# 学習指導案

- 1 主題名 ぼくにまかせて 4-(2) 勤労
- 2 資料名 おふろばそうじ 出典「道徳教育推進指導資料1 (一部改変)」文部省
- 3 ねらい お手伝いをする事のよさは「かぞくのためにはたらく・よろこんでもらえる・じょうずになる」ことで感じられることに気付き、お手伝いをしようとする心情を高める。
- 4 展 開

	学習活動 (主な発問と児童の予想される反応)	○指導上の留意点 ☆評価 補充のための工夫は太字
導 入	<p>1. お手伝いに関する経験を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お手伝いをしていてどんなときがうれしいですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しんぶんをはこぶお手つだいをして、お父さんにほめられるとき。</li> <li>・おさらあらいのお手つだいをして、お母さんがよろこんでくれるとき。</li> </ul>	<p>○価値への方向付けを図るために、お手伝いでうれしさを感じた経験を聞き、働くことのよさの視点に基づき分類する。</p> <p>○資料への関心を高め主体的に考えることができるように、働くことのよさを感じぴょんぴょん跳ねている主人公の様子を動作化させる。</p>
展 開 前 段	<p>2. 資料「おふろばそうじ」を読んで、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おじいちゃんはどうしてにこにこしながらおふろから出てきたのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いい気もちだから。</li> <li>・おふろがきれいだから。</li> <li>・しあわせだから。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大きな声で「ぼく、やるもん」といったあきらは、どんなことを思っていたでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうじがたのしい、うれしい。</li> <li>・みんなにほめてもらおう。</li> <li>・おじいちゃんのために、がんばるぞ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あきらは、どうしてお風呂掃除が大事な仕事だと思ったのでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばると、家ぞくのためになってよろこんでもらえるから。</li> <li>・家ぞくみんなにほめられてうれしいから。</li> <li>・おふろそうじがじょうずになるから。</li> </ul>	<p>○あらすじをとらえさせやすくするために、登場人物と主な会話を黒板に掲示する。</p> <p>○家族みんなのために役に立っていることを押さえるために、補助発問であきらのおかげできれいなお風呂に入れるのは、おじいちゃんだけなのかを考えさせる。</p> <p>○あきらくんが大きな声で言ったのは前向きな気持ちからであることを押さえるために、毎日お風呂掃除を行うことにしたあきらくんの気持ちを考えさせる。</p> <p><b>○お手伝いをする事のよさを分かりやすくとらえることができるように、板書された児童の意見を「かぞくのため・よろこんでもらえる・じょうずになる」のキーワードにしてまとめる。</b></p> <p>☆お手伝いをする事のよさについて気付くことができたか。(ワークシート)</p> <p>○児童に向かって話しかけるように問いかけ、あきらの気持ちに共感させることで、多様な働くことのよさを考えさせる。</p>
展 開 後 段	<p>3. お手伝いについて今までの自分を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今までに、お手伝いなどをして上手になったことはありますか。そのときの気持ちも教えてください。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おさらあらいがじょうずにできるようになって、うれしかった。</li> </ul>	<p><b>○自己の体験にも「自分の成長」があることに気付き、そのすばらしさを感じることができるようそのときの心情を想起させる。</b></p> <p>☆自分の生活を振り返り、お手伝いをして感じるよさについて気付くことができたか。(発言・観察)</p>
終 末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<p>○自分では気が付かなかったが、お手伝いを続けていて、「上手になった」とほめられた体験について話をする。</p>

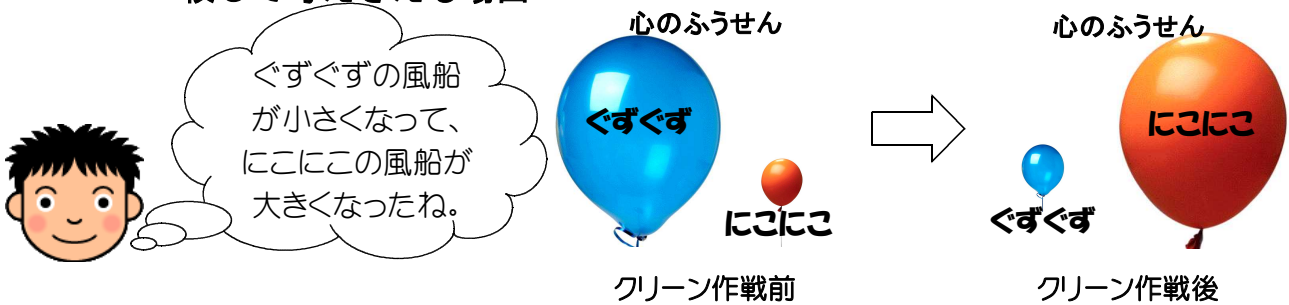


# 補充を意図した道德の時間 二年

働くことのよさ	とらえる	<p><b>実態の把握と分析</b></p> <p>教室や廊下のぞうきんがけや机運びなどの清掃活動に、児童は一生懸命取り組んでいる様子が見えた。しかし、「以前と比較して、掃除をするのが上手になっている」や「掃除をする前は前向きに取り組めなくても、一生懸命に取り組むとすっきりする」などの働くことのよさについて感じたり気付いたりしていないという実態を把握した。</p> <p>そこで、「自分の成長」について補う必要があると分析し、補充を意図した授業を構想した。</p>
働くことのよさ		<p><b>資料選択</b></p> <p>三つの働くことのよさの「自分の成長」をとらえられる資料。</p>

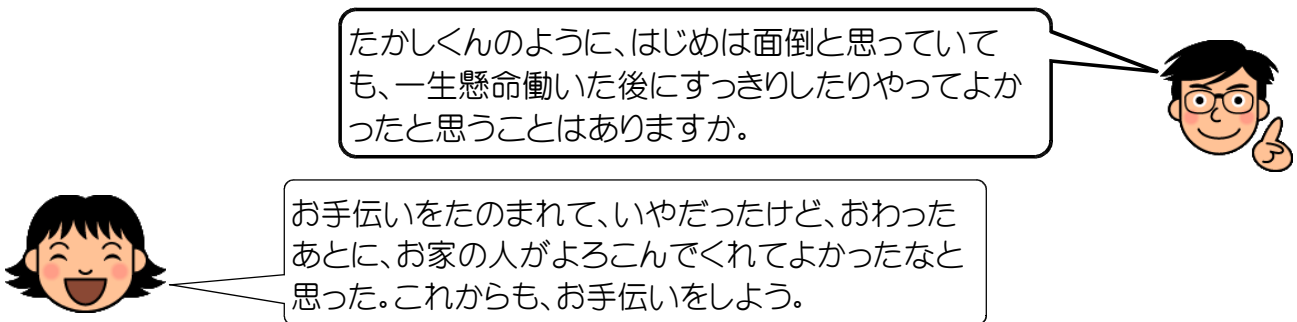
## 授業の様子

〔展開前段〕 たかしの心の成長について考えることができるようにするために、「クリーン作戦」を始める前と後のたかしの心情を風船に例えて表し、比較して考えさせる場面



たかしの心情を風船に例えて表すことによって、たかしの心情をとらえやすくすることができると共に、クリーン作戦前後の心情を比較しやすくなることのできた。たかしの心情に着目することで働くことのよさ「自分の成長」について考えることができるようになった。

〔展開後段〕 働くことで自分の心も成長することができることに気付かせるために、働く前と後の心情を比較して考えさせる場面



自分自身の心の風船を思い描くことで、自分の成長をとらえることができるとともにそのときの心情を想起することができ、みんなのために働こうという心情を高めることができた。

# 学習指導案

- 1 主題名 はたらくっていいね 4-(2) 勤労
- 2 資料名 おでこのあせ 出典「どうとく きみがいちばんひかるとき 2年」光村出版
- 3 ねらい 「クリーンさくせん」に対するたかしの気持ちの変化について考えることを通して、働くことのよさは、相手やみんなのために役立ってうれしい、気持ちがよいというなどであることが分かり、みんなのために働こうとする心情を養う。
- 4 展開

	学習活動（主な発問と児童の予想される反応）	○指導上の留意点 ☆評価 補充のための工夫は太字
導入	<p>1. 自分たちがどんな気持ちで掃除をしているかを知る。</p> <p>清掃活動にどんな気持ちで取り組んでいますか。〔事前アンケート〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はやくおわらないかな。大へんだな。</li> <li>・きれいにするぞ。</li> </ul>	<p>○ねらいとする道徳的価値についての方向付けをするとともに主体的に考えようとする心構えをつくるために、自分の成長の視点から自己を振り返る。</p>
展開前半	<p>2. 「おでこの あせ」を読んで、話し合う。</p> <p>朝の支度をぐずぐずしているたかしくんは、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あさはやくからいやだな。</li> <li>・ほかの人がやってくれればいいのに。</li> </ul> <p>二人のまねをしながら、ごみを拾い始めたときのたかしの気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人がやっているからやろう。</li> <li>・たのしいのかな。</li> <li>・きれいになっていくな。</li> <li>・二人はえらいな。</li> <li>・たくさんひろうぞ。</li> <li>・めんどうだな。(きたない。いやだ。)</li> </ul> <p>たかしくんは、おでこのあせを拭きながら、どんな気持ちで集まったごみを見つめていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいになってよかった。</li> <li>・ぼくもやくだったかな。</li> <li>・きもちいいな。</li> <li>・二人がたのしそうにやっているのが、なんとなくわかったな。</li> </ul>	<p>○道路に落ちていたごみを用意し提示するなどし、「クリーン作戦」に前向きに取り組めないたかしに共感させて、徐々に変容するたかしの気持ちを考えさせる。</p> <p>○前向きに取り組むことのよさに気付けるように、友達とたかしの表情を場面絵で提示し気持ちの違いを比較させながら、たかしの気持ちを考えさせる。</p> <p>☆「クリーンさくせん」に対するたかしの気持ちの変化について考えることを通して、働くことのよさに気付くことができたか。(観察、ワークシート)</p> <p><b>○たかしの心の成長について考えることができるようにするために、「クリーン作戦」を始める前と後のたかしの心情を風船に例えて表し、比較して考えさせる。</b></p> <p>○働くことのよさである「自分の成長」をとらえることができるようにするために、補助発問でたかしが面倒だと思っていた気持ちの大きさにも着目させる。</p>
展開後半	<p>3. 自分の生活を振り返り、はじめは前向きではなかったが、働いているうちに気持ちが変わった経験を振り返り、話し合う。</p> <p>はじめは面倒と思っていたも、一生懸命働いた後にすっきりしたりやってよかったと思ったりしたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりかっどうで、休みじかんにつくえをせいとんするのがめんどうだと思っていたが、つくえがきれいになり、気もちもすっきりした。</li> </ul>	<p><b>○自己の勤労に対する様子を見つめさせるために、勤労に対して進んでしていたか、しかたなくしていたかのどちらの場合が多かったかを想起させてから考えさせる。</b></p> <p><b>○働くことで自分の心も成長することができることに気付かせるために、働く前と後の心情を比較して考えさせる。</b></p> <p>○なかなか書き出せない児童には、事前の調査などで教師が把握していることを示すなど寄り添って考える。</p>
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<p>○自分や家族、身近な人たちのためだけではなく、みんなのために働くことの気持ちよさを感じた体験について話す。</p>



# 深化を意図した道德の時間 一年

働くことのよさ

役 や 成

深める

役 や 成

みつめなおす

## 実態の把握と分析

児童への事前のアンケートや観察により、ほとんどの児童がお手伝いはお家の人のために行うことは理解している実態を把握した。しかし、保護者への事前アンケートから、実際にお手伝いをするときには家族のためという視点からは、深く考えていない実態を把握した。

そこで、主に働くことのよさの「役に立つうれしさ」について、自己とのかかわりを通してさらに考えを深めさせたいと分析し、深化を意図した授業を構想した。

## 資料選択

身近な体験を通して深く考えるため日常体験が描かれている資料。

## 授業の様子

〔展開前段〕 お手伝いに対して、必ずしも素直に取り組むことができない気持ちやお手伝いをしたほうがよいという気持ちが葛藤しているしずこの気持ちに共感させて考えを深める場面

だまってみていたしずこは、どんなことを心の中で思っていたでしょう。



いま、テレビをみているし、めんどうだな。



お母さんがいそがしそうだな。お手伝いをしようかな。

お手伝いをしたほうがよいと分かっているが前向きに取り組むことができないしずこの気持ちに共感することを通して、働くことのよさについての考えを深めることができた。

〔展開後段〕 自己とのかかわりで働くことのよさを深く考えることができるように、今までお手伝いに対して進んで取り組んでいたかどうか想起した後に、お手伝いに前向きに取り組めた理由を考えさせる場面

がんばって、せんとくものをたたんだよ。



お母さんが、大変そうだからよろこんでもらおうと思ったのでがんばった。よろこんでもらったうれしかった。

今までの取組を想起することで、普段の児童の生活体験とつなげ深く自己のあり方を見つめることができた。

# 学習指導案

- 1 主題名 お手伝いはだれのため 4-(2) 勤労
- 2 資料名 おてつだい 出典「どうとく みんななかよく1」東京書籍
- 3 ねらい お手伝いをしたほうがよいと分かっているが、前向きに取り組むことができないしずこの葛藤や家族のために働くうれしさを感じることができた様子について考えることを通して、家族のために働こうとする心情を高める。
- 4 展 開

	学習活動（主な発問と児童の予想される反応）	○指導上の留意点 ☆評価 深化のための工夫は太字
導 入	1. お手伝いを頼まれたときの気持ちを振り返る。 お手伝いを頼まれたときどんな気持ちになりますか。 ・お手つだいをがんばるぞ。 ・めんどろだな、大へんだな。	○ねらいとする道徳的価値への方向付けをするために、事前の体験活動や資料中で扱われている活動と同様の活動を導入で振り返る。
展 開 前 段	2. 「おてつだい」を読んで話し合う。 しずこがすぐには手伝わなかったのはなぜでしょうか。 ・テレビをみているから。 ・いやだけど、手つだわなくちゃいけないな。 だまってみていたしずこは、どんなことを心の中で思っていたでしょう。 ・わたしもおとうとをあやしたほうがよいかな。 ・お母さんいそがしそうだな。 ・いままで、あまり手つだわなかったな。 ・これからは、お母さんのためにもっと手つだおうかな。 お母さんに「たすかるわ、ありがとう」と言われたときのしずこは、心の中でどんなことを思ったでしょう。 ・じぶんのしごとだからがんばろう。 ・もっと、お母さんを助けてあげよう。 ・よろこんでもらおう。 ・ほめられてうれしいな。	○しずこのお手伝いに対する葛藤をとらえることができるように、心の中の様子をシーソーに例えて板書する。  ○お手伝いに対して、必ずしも素直に取り組むことができない気持ちやお手伝いをしたほうがよいという気持ちが葛藤しているしずこの気持ちに共感させて自己の価値観を表出させ考えを深める。 ☆家族のためにお手伝いをしようとするしずこの心情を考えることができたか。（ワークシート、発言） ○多様な価値観があることに気付き、考えを深めることができるように、児童の意見を分類（A: 責任感、B: 役に立つうれしさ、C: やりがい…など）して示す。 A：自分の仕事だから B：お母さんのため C：ほめられたい
展 開 後 段	3. 自分の生活を振り返り話し合う。 お手伝いをがんばってしたことはありますか。どうして、お手伝いをがんばろうと思ったのですか。 ・おさらあらいやせんたくものをたたむお手つだいをしました。それは、お母さんがよろこんでくれるからです。	○自己とのかかわりで働くことのよさを深く考えることができるように、今までお手伝いに対して進んで取り組んでいたかどうか想起させ、お手伝いに前向きに取り組めたときの理由を考えさせる。
終 末	4. お手伝いに関する保護者の願いや思いを聞く。	○進んで働こうとする心情を高めることができるように、保護者への事前のアンケートで記入されたお手伝いに関する願いや感謝の気持ちを紹介する。

# 深化を意図した道徳の時間 二年

働くことのよさ

役 や 成

深める

役 や 成

みつめなおす

## 実態の把握と分析

児童は、清掃や給食当番、係活動などに「きれいにするため」「おいしくたべられるようにするため」などの課題意識をもち取り組んでいる。また、事前アンケートにより、約8割の児童が、めあてをもちやりがいを感じながら取り組んでいるものの、係活動が友達のためになるという視点からは深く考えていない実態を把握した。

そこで、「やりがい」だけではなく「役に立つうれしさ」の視点から改めて深く考える必要があると分析し、深化を意図した授業を構想した。

## 資料選択

身近な体験を通して深く考えるため日常体験が描かれている資料。

## 授業の様子

〔導入〕資料中で扱われている体験活動と同様の活動を想起する場面

どんな気持ちで係活動にとりくんでいますか。

なりたかった係なのでたのしい。

係活動は楽しいからだけの理由で取り組んでいるのかな。

あれ、今までの自分はどうだったかな？

係活動の大切さや今までの取組に改めて目を向けることで、展開で考えを深めることにつながることができた。

〔展開前段〕多様な価値観が表れる場面で中心発問を行ったり、友達と自分の意見と似ているところや異なるところについて話し合ったりする場面

C1: 係活動をするとみんなのためになる。

C2: やさしくプリントを配ってもらってうれしかったことがあるよ。

係活動をするとみんなのためになるし、みんなもうれしいし自分もうれしい

C1は、係活動をするとみんなのためになると自分の立場から考えていた。C2は、「やさしくプリントを配ってもらってうれしかったことがあるよ」と発言を聞いた。C1は、自分が係活動をしているときの体験も見つめ直し、自分だけではなく相手の気持ちも考えることができ、「みんなもうれしいし自分もうれしい」と価値観を深めることができた。

# 学習指導案

- 1 主題名 何のためにはたらくの 4-(2) 勤労
- 2 資料名 のぶくんはポスターがかり 出典「2年生のどうとく」文溪堂
- 3 ねらい のぶくんの係活動に対する取組の様子や心情の変化を考えることを通して、みんなのために働こうとする心情を深める。
- 4 展 開

	学習活動（主な発問と児童の予想される反応）	○指導上の留意点 ☆評価 深化のための工夫は太字
導 入	1. 自分たちが係活動にどんな気持ち取り組んでいるかについて想起する。 ・じぶんのしごとだからがんばる。 ・みんなのために、せいれつをさせる。 ・たのしいな。	<b>○主体的に考えようとする心構えをもつことができるように、資料中で扱われている体験活動と同様の活動について想起させる。</b>
展 開 前 段	2. 資料「のぶくんはポスターがかり」を読んで、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">のぶ君はポスターがかりになったとき、どんな気持ちだったでしょう。</div> ・やりたい人がすくなかったから、やってみようと思った。 ・何をかこうかいろいろかんがえたけど、大すきな虫にしよう。 ・さいしょは、かかりのしごとをいっしょうけんめいがんばろうと思った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">のぶくんは、はっとしたときどんなことに気が付いたのでしょうか。</div> ・ポスターをあまりかいていないこと。 ・まさとくんのざんねんそうなようすを見たから。 ・まさとくくんが、じぶんのえをたのしみに行っていることに気がついたから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カマキリのポスターをみんなと笑顔でながめているときのぶくんは、どんなことを思っていたでしょう。</div> ・みんながよろこんでくれてうれしい。 ・ほめてもらってうれしいな。 ・これからがんばってかこう。 ・わすれないでかこう。	○あらすじが分かりやすく理解できるように、資料を範読しながら場面絵を提示する。 ○最初は、あまり人のために取り組もうという気持ちがなかったことに気付かせるために、補助発問で「どうして虫の絵をかこうとしたのか」を問う。 ○のぶくんの係の仕事に対する期待感に結び付けて考えることができるように、補助発問で、なぜ、まさとくくんが残念そうな様子をしたのかを考えさせる。 <b>○働くことのよさについての考えを深めるために、価値観が多様に表れる場面で中心発問を行い、友達と自分の意見が似ているところや異なるところなどについて話し合わせる。</b> ☆のぶくんの係活動に対する心情に共感して、みんなのために働こうとする心情を深めることができたか。（観察・発言） <b>○価値理解だけではなく人間理解や他者理解を通して深く考えることができるようにするために、働くことのよさの三つの視点に照らし合わせて分類して板書し考える際の手掛かりとなるようにする。</b>
展 開 後 段	3. 係活動についての取組を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">係の仕事をしてみんなのためになったなど感じたことはありますか。</div> ・くばりがかりのしごとをしたら、「ありがとう」と言われた。うれしかった。	<b>○自己とのかかわりで働くことのよさを深く考えることができるように、係活動において働くことのよさを感じたときの取組や心情について発表させる。</b>
終 末	4. 教師の説話を聞く。	○みんなのために働くことは大切であることに気が付いた体験を話す。

# 統合を意図した道徳の時間 一年

清掃活動  
役や成

お手伝い  
役や成

係活動  
役や成

資料中の体験  
役や成

…など

新たな  
感じ方  
や  
考え方

自己  
関連  
付ける

ひろげる

**実態の把握と分析**  
未実施のため未記入

**資料選択**  
どの勤労体験にも働くことのよさがあることに気付けるよう日常ではあまり体験しない勤労体験が描かれている資料。

## 授業の様子

未実施のため未記入

## 学習指導案

- 1 主題名 どうして働くの 4-(2) 勤労
- 2 資料名 もりのゆうびんやさん 出典「小学校道徳 読み物資料集」文部科学省
- 3 ねらい もりのゆうびんやさんがやぎじいさんにおれいを言われたときの気持ちを考えることを通して、働くことのよさに気づき、多様な勤労体験と関連付け、みんなのために働こうとする心情を高める。
- 4 展 開

	学習活動（主な発問と児童の予想される反応）	○指導上の留意点 ☆評価 <b>統合のための工夫は太字</b>
導入	1. 自分がやってきた仕事の内容について発表し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         みなさんは、どんな仕事をしていますか。                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きゅう食当ばん</li> <li>・お手つだい</li> <li>・ちいきのそうじ</li> </ul>	○学校や家庭などにも、働く場面はたくさんあることを想起させるために、今までの勤労体験を想起させる。 <b>○仕事の内容を短冊黒板に記入して、展開後段に生かす。</b>
展開前半	2. 資料「もりのゆうびんやさん」を読んで、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         森のみんなは、くまさんのことをどのように思っていたと思いますか。                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まい日休まずにゆうびんをはいたつしてくれるからありがたい。</li> <li>・みんなのことをかんがえておしごとをしてくれるからうれしい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                         （雪の日）配達に行く前、くまさんはどう思ったでしょう。                     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大へんだ。やめようかな。</li> <li>・ゆきがふってきていやだな。</li> <li>・さむいけど、みんながまっているから、がんばってとどけよう。</li> </ul>	○働くことの意義についての考えを深めさせることができるように、雪の日のくまさんの気持ちを考えさせる。

	<p>やぎじいさんに「ありがとう」と言われたくまさんは、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やぎじいさんのよろこぶかおを見て、ぽかぽかの気持ちになった。</li> <li>・山みちをのぼってつかれたけれど、しあわせな気持ちになった。</li> </ul> <p>お手紙を読んだくまさんは、どんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明日もゆうびんはいたつをがんばって、みんなのよろこぶかおが見たいなあ。</li> <li>・これからもいっしょうけんめいはたらいて、みんなによるこんでもらおう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○価値観の多様性を認識することができ自分の価値観を改めてとらえ直すことができるように、児童の価値観を分類して示す。</li> <li>○考えを深めるために、一人の考えを他の児童に考えさせたり自分の考えと似ているところや自分の考えが新たになったところに挙手をさせたりする。</li> <li>○仕事を終えたくまさんに共感させて、仕事をした喜びについて考えさせる。</li> </ul>
展 開 後 半	<p>3. みんなのために働いたことを想起し、発表する。</p> <p>係活動や給食当番などみんなのために一生懸命働いたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お手つだいをお家の人のためにしている。</li> <li>・きょうしつのそうじをみんなのためにしている。</li> </ul>	<p><b>○仕事に取り組んだよさを想起させたり多様な勤労体験を関連付けたりすることができるように、導入で想起した仕事の内容を記した短冊黒板を活用する。</b></p> <p>☆様々な体験を関連付けて考え、働くことのよさは共通していることについて気付くことができたか。(発言・観察)</p>
終 末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<p>○働くことのよさは、どんな仕事でも共通しており、どんな仕事でも一生懸命取り組むことが大切だと感じた体験を話す。</p>



# 統合を意図した道徳の時間 二年

清掃活動 役や成

係活動 役や成

資料中の体験 役や成

お手伝い 役や成

自己 関連 付ける

新たな 感じ方 や 考え方

ひろげる

**実態の把握と分析**

児童は、清掃活動、係活動、給食当番など多様な勤労体験に取り組んでいる。しかし、勤労体験により働くことのよさの感じ方や取組の様子に差がみられることを把握した。

そこで、自分たちが多様な勤労体験にかかわっていることを認識させる共にどの勤労体験にも働くことのよさがあることに気付き、新たな感じ方や考え方をもち必要があると分析し、統合を意図した授業を構想した。


**資料選択**


どの勤労体験にも働くことのよさがあることに気付けるよう日常ではあまり体験しない勤労体験が描かれている資料。

## 授業の様子

〔導入〕学校や家庭以外にも、働く場面はたくさんあることに気付かせるために、心のノートを活用する場面

たくさんの人達がいろいろな場所で働いていますね。






そうじやきゅう食当番をするぼくたちも、消防士さんや農家の人も、みんな同じしごとのなかまだな。

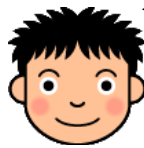


係活動の大切さや今までの取組に改めて目を向けることで、展開で考えを深めることにつながることができた。

〔展開後段〕係活動やお手伝い、地域の清掃など様々な体験を想起できるように導入を想起させる場面

働いていて大変だな、よかったなと思うことはありますか。





ぞうきんがけはつめたくてへん。でも、みんなのためにがんばるとうれしいよ。

導入の「こころのノート」を再提示

のう家の人は、あつい日もあるし大へん。でも、きつとお米を食べる人のためにがんばっているのだね。

「ぞうきんがけはつめたくて大へん。でも、みんなのためにがんばるとうれしいよ」など発言した。さらに導入で提示したこころのノートを再提示し、「誰のために働いているのだろう」と問いかけることで「のう家の人は、あつい日もあるし大へん。でも、米を食べる人のためにがんばっているのだね」などそれぞれの仕事に役に立つという思いが共通してあることに気付いた。

# 学習指導案

- 1 主題名 わたしにまかせて 4-(2) 勤労
- 2 資料名 おもいでいっぱいなのつ休み 出典「小学校道徳 2 みんな たのしく」東京書籍
- 3 ねらい 夏休みに毎朝、歩道橋のごみを拾ったゆき子の行動や心情を考え、働くことのよさを視点に多様な勤労体験をとらえ、みんなのために働こうとする心情を高める。
- 4 展 開

	学習活動（主な発問と児童の予想される反応）	○指導上の留意点 ☆評価 統合のための工夫は太字
導 入	1. 身の回りには、たくさんの働く場があることを知り、働くことについての様々な思い（大変さ、よさ）について考える。 〔消防士〕 （大変さ） ・火をけすのは大へんだ。 （よさ） ・人を助けることができた。	○ <b>学校や家庭以外にも、働く場面はたくさんあることに気付かせるために、心のノートを活用する。</b> また、それぞれの働くことについての様々な思い（大変さ、よさ）について考えることができるように、消防士を例にして具体的に考える。
展 開 前 段	2. 資料「おもいでいっぱいなのつ休み」を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ゆき子はどうして、夏休みの間、高橋さんと一緒に掃除をしようと決心したのでしょうか。</div> ・一人でがんばっているたかはしさんを手つだいたい。 ・ほどうきょうをみんなにきもちよくとおってもらいたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">うでやこしも痛くなってきたとき、ゆき子は、どんなことを思ったでしょう。</div> ・体がいたいのもうやめたいな。 ・こんな大へんなしごとを今まで一人でやってきて、たかはしさんはすごいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ゆき子が、歩道橋の掃除をして、本当によかったなと思ったのはなぜでしょう。</div> ・たかはしさんといっしょにがんばれたから。 ・ほどうきょうがきれいになったから。 ・みんなのために、そうじをすることができたから。	○ゆき子が思いつきで行動しようとしたわけではないことを確認するために、決心とは、「考えを決めたこと」であることを説明する。 ○歩道橋をみんなに気持ちよく歩いてもらうために掃除をする高橋さんに共感して、自分にもみんなのために何かできることはないかと考えたゆき子の心情について考える。 ○働くことの大変さやよさについて考えることができるように、決心して掃除をしたが体が痛くなったゆき子の気持ちにも目を向けさせる。 ○タオルをプレゼントしたゆき子の気持ちに共感させることで、一緒に仕事をやり遂げることができたことへの充実感や人々の役に立てたという喜びについて考えさせる。 ○働くことのやりがいに気付かせるために、「ほどうきょうのそうじをして、ほんとうによかったな」の後に「どうしてかという」とを提示し理由を考えさせる。
展 開 後 段	3. 掃除や係活動など勤労に関する体験について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">掃除や係活動などで、働いて大変だったことやよかったなと思ったことはありますか。</div> （大変さ） ・つくえがおもたい。 （よさ） ・きょうしつそうじをがんばり、きれいになってよかった。	○ <b>係活動やお手伝い、地域の清掃など様々な体験を想起し関連付けて考えることができるように、導入で使用したところのノートやプール清掃などの写真を提示し、働くことのよさについて考えさせる。</b> ☆様々な体験を関連付けて、働くことのよさは共通していることについて気付くことができ、新たな感じ方や考え方をもつことができたか。（発言・観察）
終 末	4. 教師の説話を聞く。	○資料中の体験以外にも、働くことのよさを様々な場で感じる事ができた体験を話す。